

第3章 愛媛の声

1. 愛媛県民の声 - アンケートによせられた声(1)

県民の声をアンケートで

県民のみなさまの生活を豊かにし、地域の活性につながる、満足度を高める道づくりを行っていくために、県民の道路に対する満足度を量ること、また、実際の道路利用者である県民のみなさまから見た現状の道路における問題点を確認するため、整備方針の立案に先立ち県民アンケート調査を実施しました。

どの道路をどのように整備していくのか

愛媛県の道路行政では、県民のみなさまが安心、安全、快適な暮らしを営めるよう、道路の側面からの支援として「県都 60・圏域内 30 アクセスプラン関連道路」、「緊急輸送路」、「市町村合併支援道路」という3つの道路ネットワークを選定して道づくりを行っています。

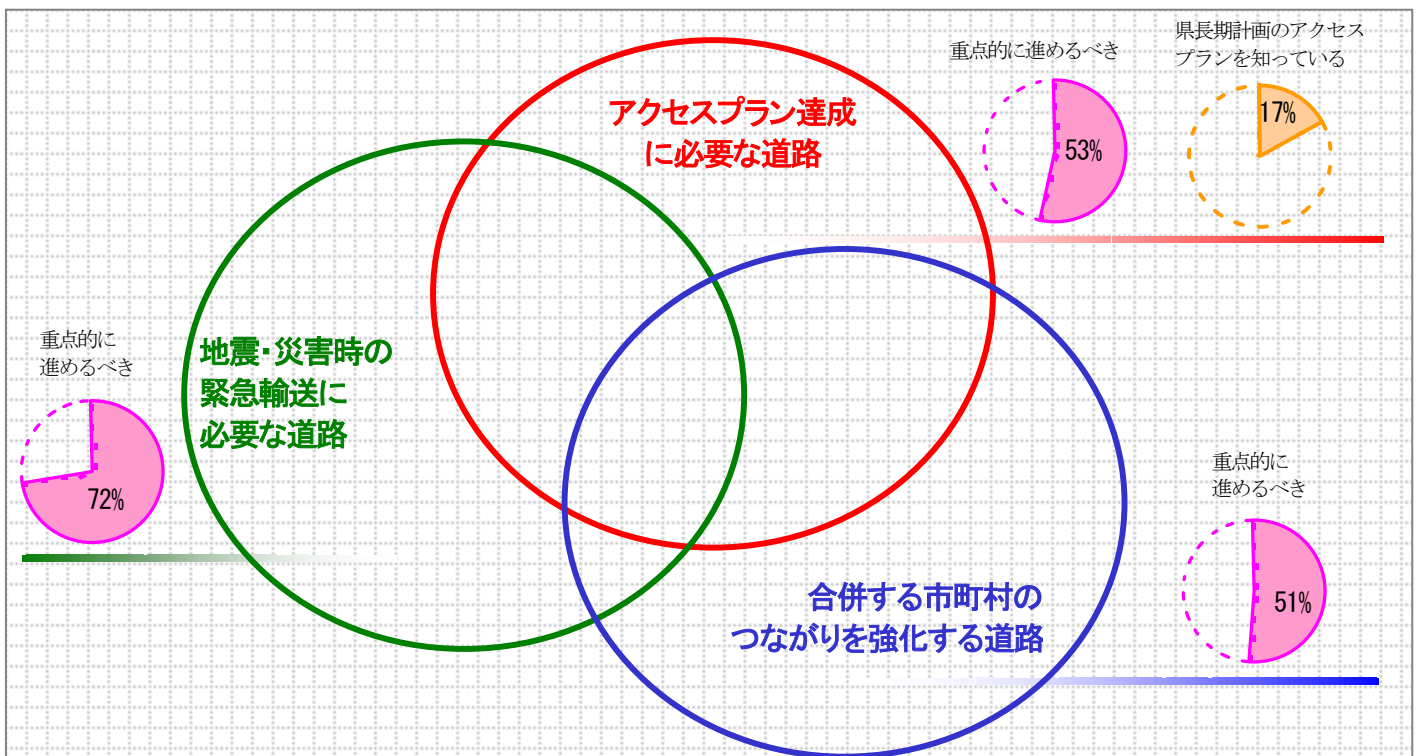
「県都 60・圏域内 30 アクセスプラン関連道路」は、地域の中心都市から県都松山市へ 60 分、集落から町の中心および町から地域の中心へ 30 分でアクセス出来るような道路で構成されたネットワークです。「緊急輸送路」は、地震などの緊急災害時において避難、救助、諸施設の復旧などの応急活動を行う上で必要な道路で構成されたネットワークです。「市町村合併支援道路」は、合併する市町村のつながりを強化する上で必要となる、合併市町村間を結ぶ道路や地域内に含まれる主要施設を結ぶ道路などで構成されたネットワークです。

今回実施したアンケート調査の中で、これらの道路整備の進め方に対する質問をしたところ、3つの道路ネットワークの全てにおいて今後も整備を進めるべきとの声が過半数を占める結果となりました。

道路はその機能により、幹線道路と生活道路の2つに大きく分類することができます。この分類によれば、県都 60 アクセスプラン関連道路、緊急輸送路は広域な幹線道路ネットワークを中心に構成され、圏域内 30 アクセスプラン関連道路や市町村合併支援道路は、比較的限られた地域内の移動で用いられる生活道路を中心に構成されるネットワークであると言えます。

愛媛県で重点的に進める3つの道路ネットワークの関係は下の図のように表すことができます。これらのネットワークは個々が独立したものではなく、互いに重複する部分を持っており、重複する部分に含まれる路線は複数のネットワーク機能を有している重要な路線であることを示しています。

●愛媛県で重点的にすすめる道路整備の関係



※円グラフは、アンケートで整備をすすめるべきと回答された割合

※アクセスプランの円グラフはは県都 60 アクセスプランと圏域内 30 アクセスプランの平均値

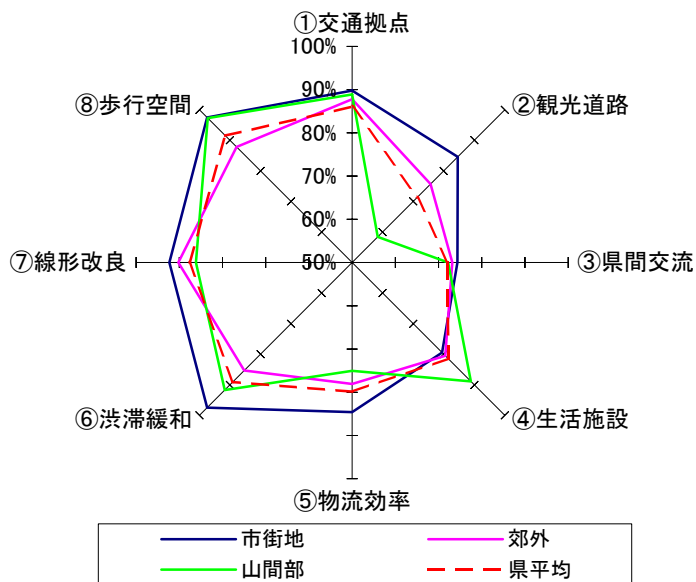
地域の声に応える道路整備を

先に示した3つの道路ネットワークの整備を進める上で、どのような道路の整備に力を入れるべきかについての質問をしたところ、愛媛県が特に優先的に進めようとしている8項目全てにおいて、7割以上の方が「早急に進めるべき」あるいは「今まで通り進めればよい」と回答され、各項目ともニーズが高いことがうかがえます。

また、アンケートでは住んでいる地域が市街地、郊外、山間部のどの地域に当たるかを聞いており、これをもとに住居地ごとにニーズを整理すると、例えば渋滞緩和については市街部のほぼ100%の人が望んでいたりと、生活関連施設への連結は山間地でニーズが高くなっていたりと、地域によりニーズが異なっていることがわかりました。一方で、歩行者や自転車が安心して快適に利用出来る道路の整備については、地域にかかわらず高いニーズを示しています。

このように、各地域で求められるニーズは異なっており、地域の実状にあった道路整備が求められているということがわかります。

●地域により異なるニーズ



※各項目について「早急にすすめるべき」「今まで通りすすめればよい」と応えた割合
 ※市街地、郊外、山間部はアンケート回答者が自らの住居地域を判断し回答した結果により分類

●このような道路の整備を優先的にすすめるべき

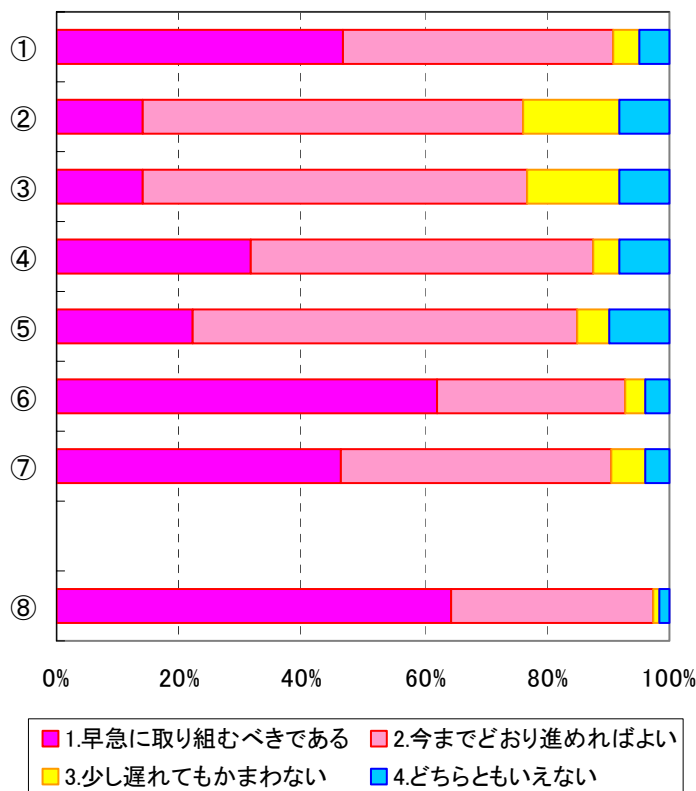
●自動車利用者に対する整備

- ①交通拠点へのアクセス性の向上 (交通拠点等連絡道路)
- ②観光・レジャー施設へのアクセス性向上 (観光地連絡道路)
- ③隣接県との交流促進の向上 (県際道路)
- ④各種関連施設との連携強化 (生活関連道路・他事業関連道路)
- ⑤物流の効率化(産業道路)
- ⑥渋滞の解消(渋滞対策道路)
- ⑦急カーブ・幅員狭小等の解消 (ボトルネック対策道路)

●歩行者、自転車に対する整備

- ⑧安心・快適な歩行空間の確保 (歩道・自転車歩行者の道の整備)

●優先整備施策に対する県民の支持率(アンケート結果より算出)



第3章 愛媛の声

1. 愛媛県民の声 - アンケートによせられた声(2)

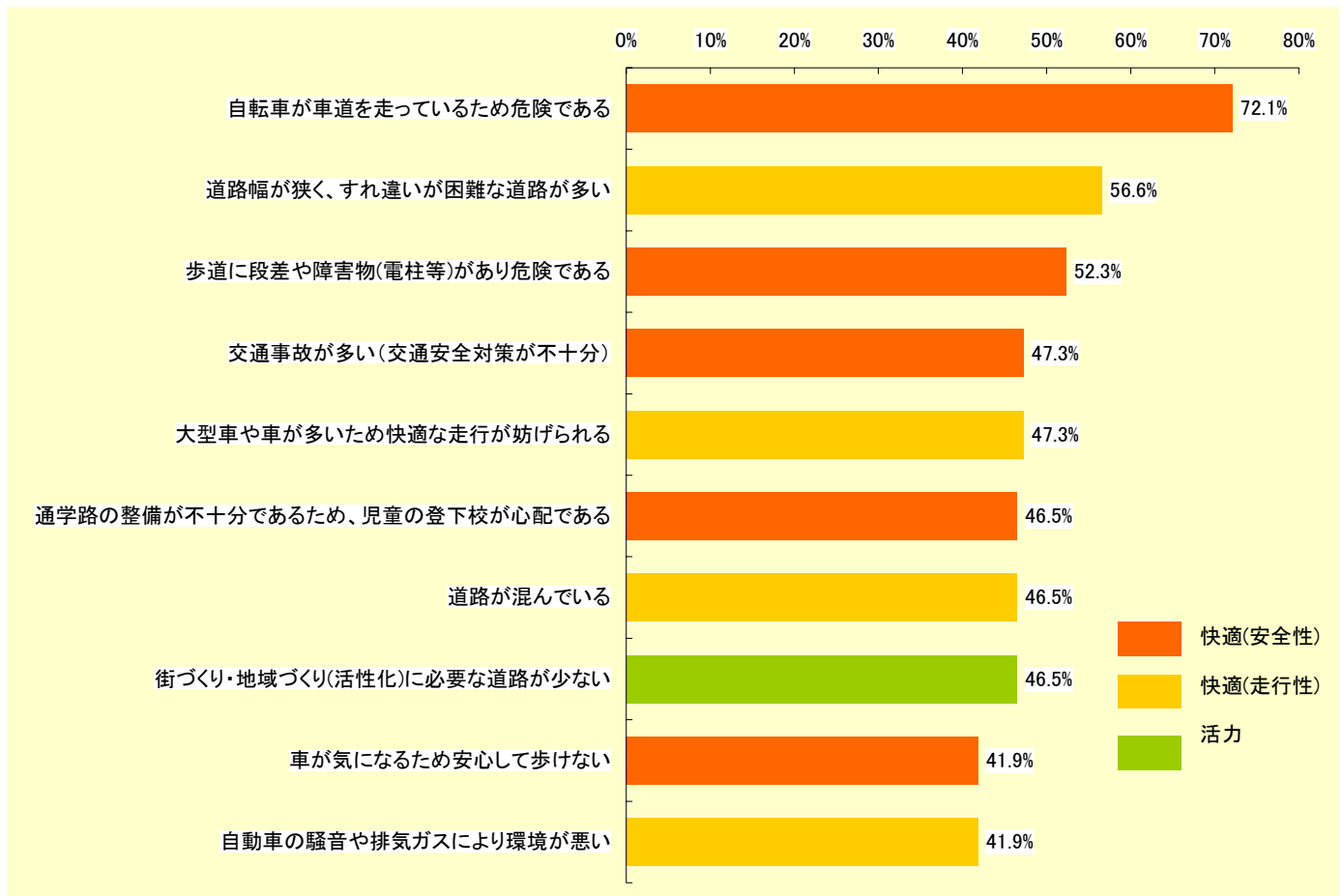
身近な道路の整備から

日常的な道路利用の中で生まれる“不満”は、裏を返すと道路整備に対する最も基本的な県民ニーズであると言えます。そこで、日々の暮らしの中で、県民のみなさまが道路を利用するあらゆる場面を想定した上で、日頃道路に対して感じている不満をアンケート調査によって回答していただきました。50%以上の方が不満と感じているのは、「自転車が車道を走っているために危険」「道路幅が狭く、すれ違いが困難な道路が多い」「歩道に段差や障害物(電柱等)があり危険」の3項目で、そのほか下のグラフに示した各項目で不満が高くなっています。そして、不満が高い項目の多くが安全性と走行性からなる「快適」のキーワードに関係する項目が占めています。

このような結果は、道路の整備がまだ整っていないことを表しているものと考えられます。上位の項目は全て道路そのものに対する不満、「自転車が車道を走っているため危険」は歩行者・自転車と自動車の分離が不完全であること、「道路幅が狭く、すれ違いが困難な道路」や「歩道に段差や障害物(電柱等)があり危険」は道路構造そのものの不備に対する不満となっています。そして、あまりにも身近な道路の整備状況が悪いためか、不満がそちらに集中し、空港、港湾、高速道路のインターチェンジへのアクセスや公共施設、福祉施設等へのアクセス等の広域交流に対する不満が少なくなっています。これは、相対的に生活道路に対する不満が高いためと考えられます。

これからは、県民のみなさまが感じている“不満” = “ニーズ”に応え、身近な生活道路まで安全かつ快適に利用出来るよう道路の整備水準を高めていくことが必要であると考えています。

● 日常的な利用における快適性(安全性や走行性)に対する不満が高い



※アンケートにおいて40%以上の人が「そう思う」と回答した項目

愛媛県が目指す道路のかたち ～自由回答意見からみる県民ニーズ～

アンケートに設けた自由回答欄には、広域的な道路網の整備に関する意見、地域振興に寄与する道路に関する意見、道路行政に関する意見、県民のみなさまが理想とする道路等について、さまざまな視点からのご意見、ご要望などを多数いただきました。

●アンケート自由回答意見(一部抜粋)

広域交流を求めて

- ・ 南予までの高速道路整備を早急をお願いします。宇和島以南は国道56号しかなく、とても混み合います。
- ・ 私の住んでいる所から、中央(松山)までのアクセスは3時間くらいかかります。県都60アクセスプランは絶対に必要。
- ・ 南宇和は宇和島まで60分かかり、30アクセスプランが達成されていません。また整備の遅れにより地域格差がどんどん広がっているのではないのでしょうか。
- ・ 高速道路の対面通行は、大変危なく、安心して運転できない。
- ・ しまなみ海道の利用促進は急務である。
- ・ 離島町村合併により連絡道路の整備を早急に。

快適な道路利用を求めて

- ・ 子供が小学校に通う通学路は、非常に狭い上に大型トラックがひっきりなしに通り、本当にヒヤヒヤする。
- ・ 交通量の多い道路の交差点は右折信号及び右折専用レーンを設けるべきだ。また、道路の中央分離帯及び車道、歩道分離帯への植樹は低いものにするか、維持管理を行わないと見通しが悪く人や犬などの飛び出しに対して危険である。
- ・ 私が住んでいる所が田舎であるからだと思うが、急カーブや狭い道、高低差の激しい道が多く危険である。
- ・ 冬期に凍結危険箇所(特に国道、県道)付近を通行するドライバーに危険を知らせる情報板を設置して欲しい。
- ・ 電柱の地中化による路上障害の除去及び景観の確保、車道、歩道、自転車道の分離、安全な道を。
- ・ 工事中の道路が多く、また期間が長期化している箇所があり、渋滞の原因になっているように思う。

活力を求めて

- ・ 人口の少ない地域がおいていかれることのない行政をお願いします。
- ・ 愛媛県は自動車の保有者数が多く車中心の社会になっている気がします。安心してもっとゆっくり散歩・買物を楽しめるように市街地の歩道をもっと充実させて欲しい。

交流・快適・活力のえひめを目指して

愛媛県では、第5次愛媛県長期計画の中で5つの誇れる愛媛の姿を表現しています。その中で道路行政に深く関わるものとして“交流えひめ”、“快適えひめ”、“活力えひめ”という3つのえひめの姿があります。

道路行政の側面から見た交流えひめとは、現代における移動手段の代名詞である自動車もたらす役割を十分に発揮する上で必要となる道路を整備し、自動車による移動を通じて、人と人、地域と地域の交流が活発な愛媛の姿を指しています。また、快適えひめは、単に道路の利用環境としてのみならず、生活に最も密着した社会資本である道路の整備を通じて、安心して快適な生活を送れる愛媛の姿を指しています。最後に、活力えひめは交流えひめでいう様々な交流機会や活動機会の拡大、快適えひめでいう安心して快適な生活環境が満足される中で活力にあふれる愛媛の姿を描いたものと考えられます。

今回のアンケート調査では、県の重要施策でもあるアクセスプランに関連する意見や、普段の道路利用における不満など、移動(交流)のための基盤整備の方向性、また道路利用の際に求められる快適性など、活力を得る上で必要な条件について特に多数のご意見をいただきました。これにより、道路行政が目指す愛媛県の姿と県民のみなさまが求める道路を通じた豊かな生活像との距離が近いことがわかるとともに、“交流えひめ”、“快適えひめ”、“活力えひめ”の創造に向けての課題が浮かび上がってきました。